

体育会学生の就職活動状況(2015年7月現在)

2015年7月

株式会社アスリートプランニング

弊社では、体育会学生の就職活動状況を明らかにするため、「アスリート就職ナビ 2016」利用中の学生にアンケートを行いました。

<調査概要>

調査対象：「アスリート就職ナビ 2016」利用学生

有効回答数：294

調査方法：Web アンケート

調査期間：2015年7月14日～20日

<調査項目>

○就職活動状況

- ・ エントリー社数／会社説明会・セミナー参加社数
- ・ エントリーシート提出社数／グループディスカッション／筆記試験／面接試験受験社数
- ・ 内定の有無／社数
- ・ 就職活動を継続するか
- ・ 選考中の企業数

○「オワハラ」を感じることはあったか

○いつまでに就職活動を終わりたいか／就職活動ができない時期／しやすい日／時間帯

○就職後も競技を続けたいか

○現在、困っていること

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

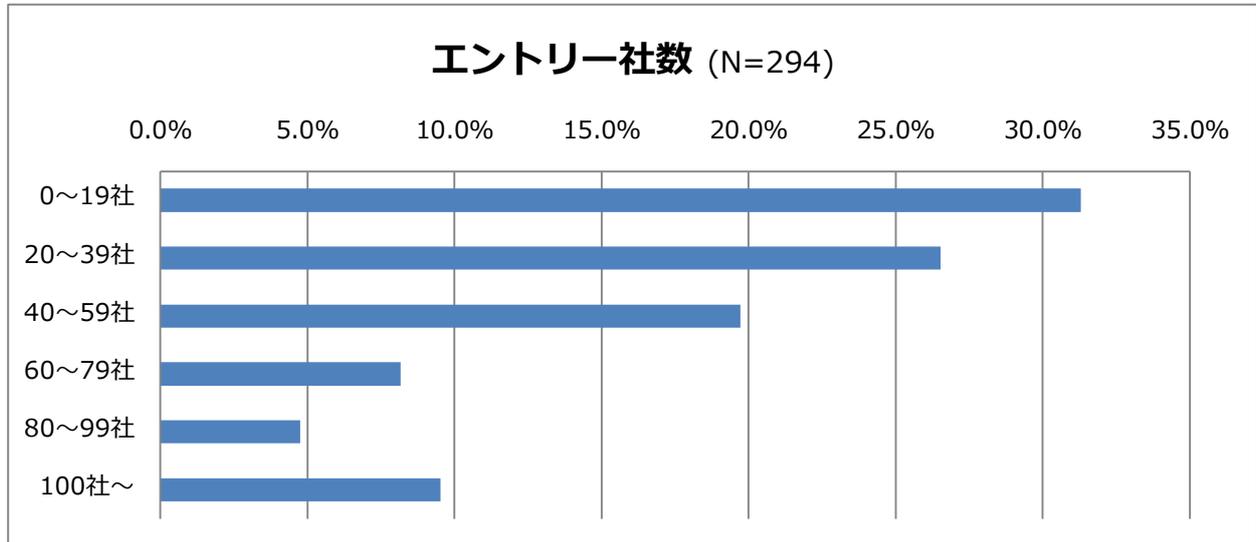
<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報室 太田 浩之

Tel: 03-5937-8460 Mail: ohta@athlete-p.co.jp

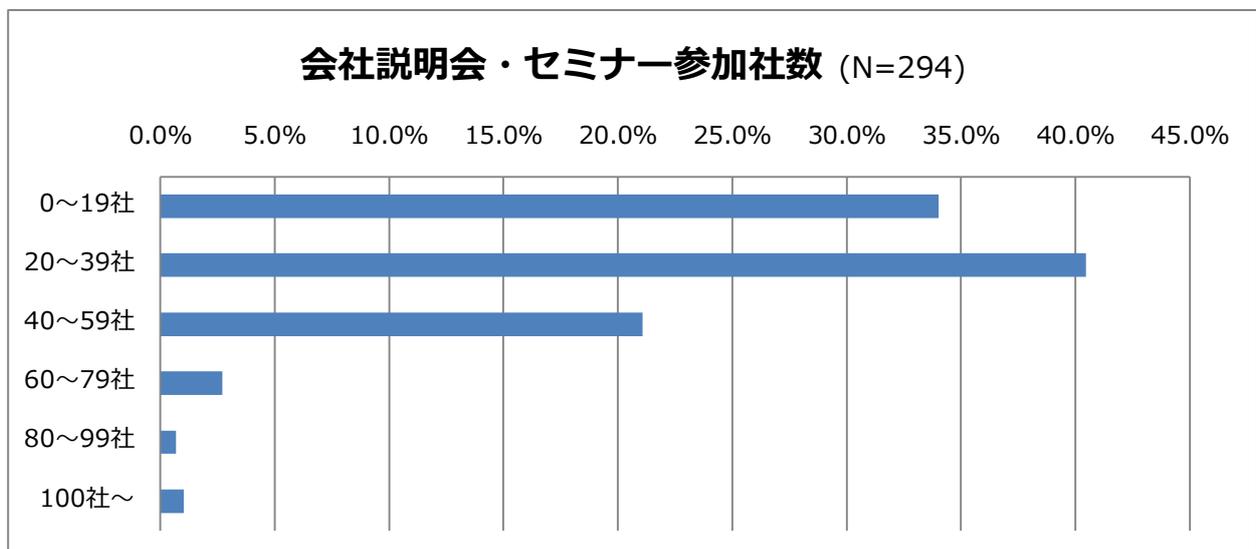
1. エントリー社数は「1～19社」が31.3%でトップ

就職情報サイト・採用ホームページ等からのエントリー社数を聞いたところ、「1～19社」が31.3%とトップ、平均すると1人あたり39.1社となりました。0社から最も多い180社まで、非常に幅のある結果となりました。就職活動時期の変更により同時期の比較データはございませんが、昨年5月の調査では平均20.7社でしたので、約2倍の社数となっています。



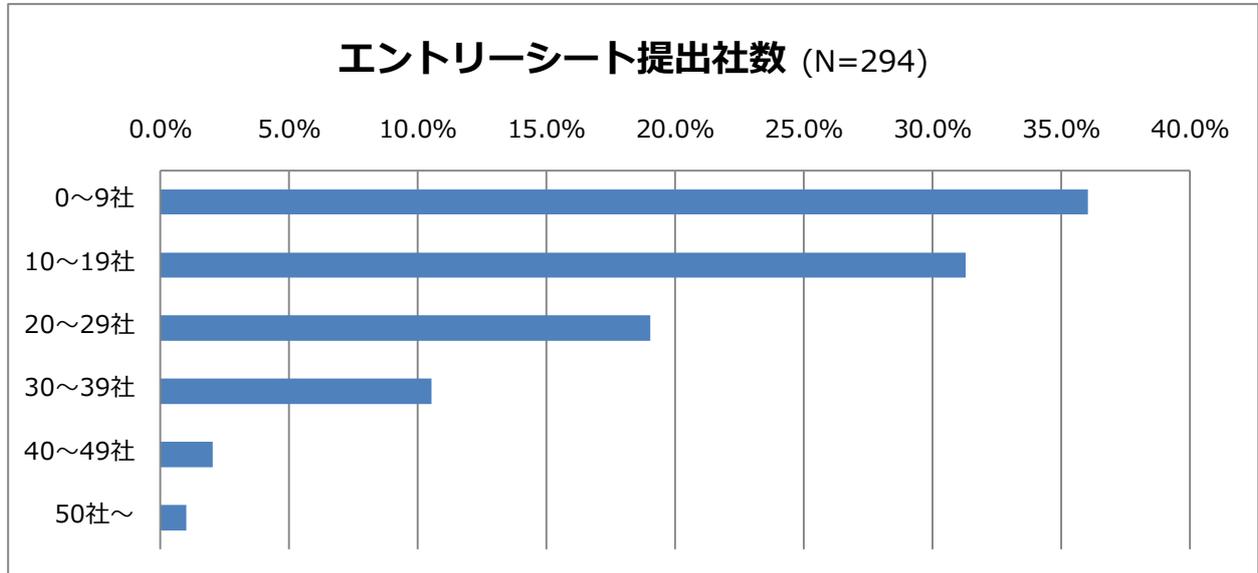
2. 会社説明会・セミナー参加社数は「20～39社」が40.5%でトップ

会社説明会・セミナー参加社数が「20～39社」が40.5%でトップとなり、「0～19社」が34.0%で続く形となりました。平均すると26.4社となり、最も多い学生で120社の説明会・セミナーに参加していました。こちらも単純比較はできませんが、昨年5月の調査では平均10.8社であったため、2倍以上に増加していることが読み取れます。今年は説明会后にすぐ選考を実施しない企業の割合が高く、不安から他の企業の説明会に参加するといったケースが見受けられました。「練習を休むのを止めることはできず、部活動ができない」と嘆く監督・コーチの声も届いております。



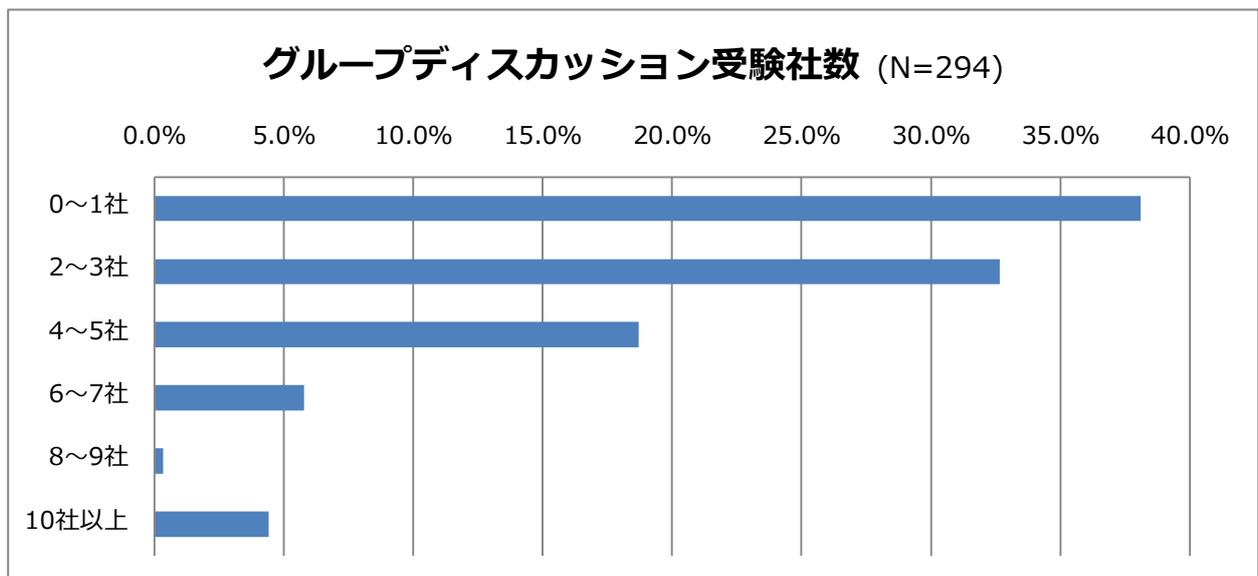
3. エントリーシート提出社数は「0～9社」が36.1%でトップ

「0～9社」と「10～19社」を合わせると約7割となり、多くの学生が20社を下回る結果となりました。学業と部活の合間に記入するため、企業を吟味して優先順位をつけていることが考えられます。



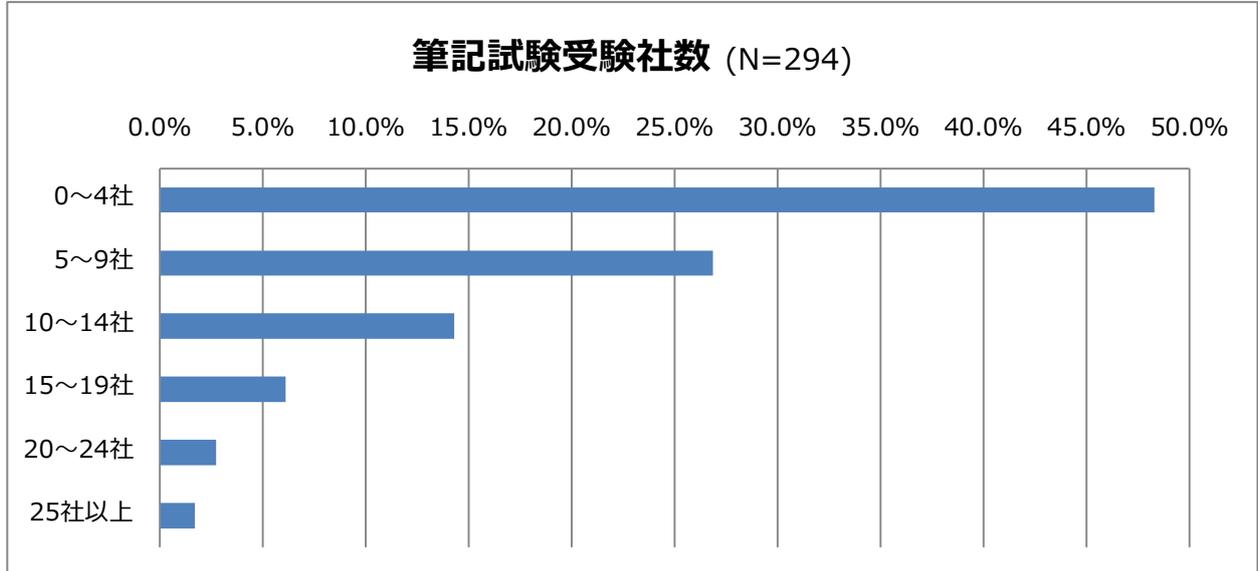
4. グループディスカッション受験社数は「0～1社」が38.1%でトップ、平均2.8社

「2～3社」と合わせると70.8%となり、7割以上の学生が3社以内の受験となっていることが分かりました。後の面接試験受験社数とあわせて見ると、グループディスカッションを実施しない企業を受験している、監督やコーチ・先輩の紹介で直接、面接を受けているといったことが考えられます。なお弊社では、体育会学生に対し基礎的なコミュニケーション力を測るためだけのグループディスカッション選考を行わないことを推奨しており、その影響も考えられます。



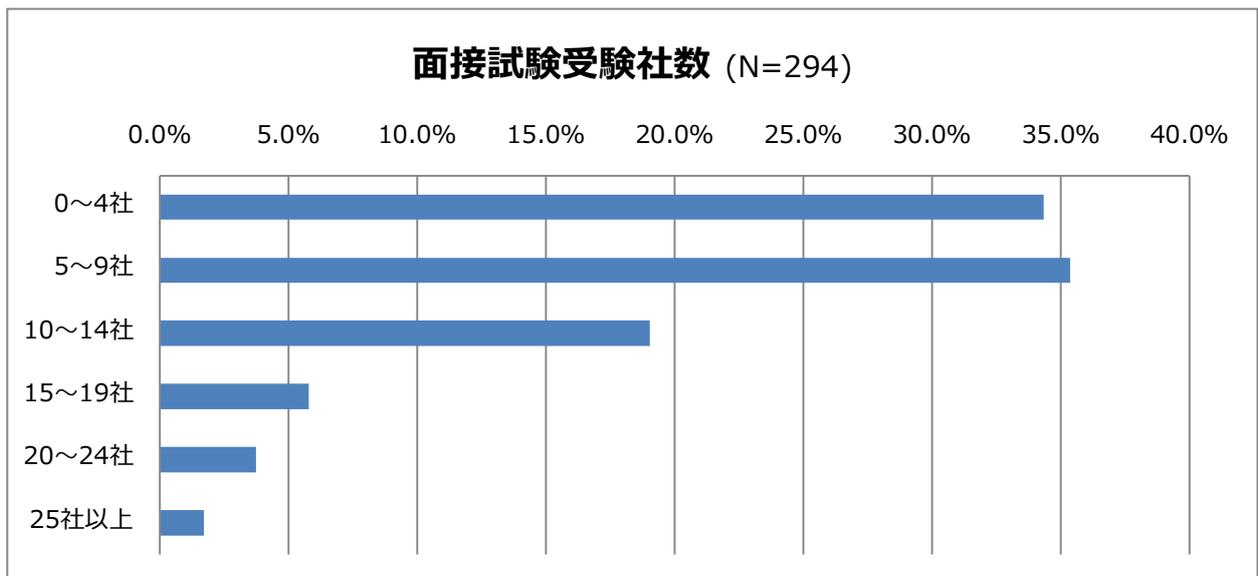
5.筆記試験受験社数は「0～4社」が48.3%でトップ、内定有無でやや差

約半数の学生が「0～4社」と回答。内定ありの学生は平均6.8社、内定なしの学生は5.5社と、やや開きが見られる結果となりました。活動量の多い学生ほど、筆記試験を受験する機会も多く、内定にもつながっていると考えられます。



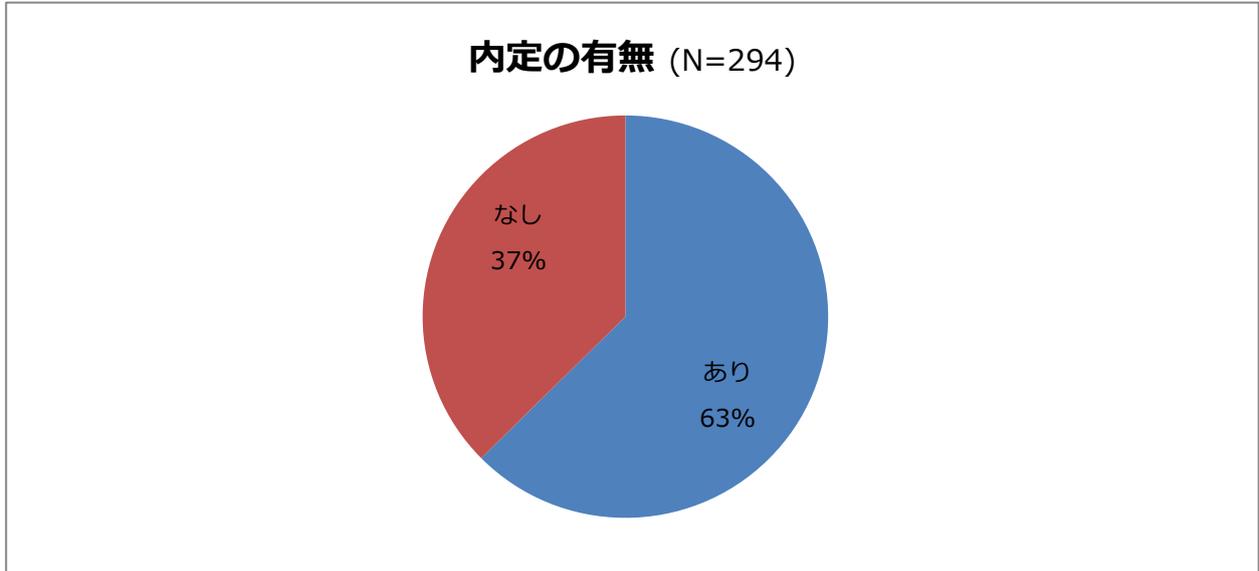
6.面接試験受験社数は「5～9社」が35.4%でトップ、「0～4社」と僅差

「0～4社」と「5～9社」を合わせると69.8%となり、約7割の学生が10社未満という結果になりました。昨年と比較するとエントリー社数は増加したものの、面接試験受験社数はさほど変化がないため、体育会学生がオフの日や練習時間の合間を使って受けられる企業数には物理的な限界があると考えられます。



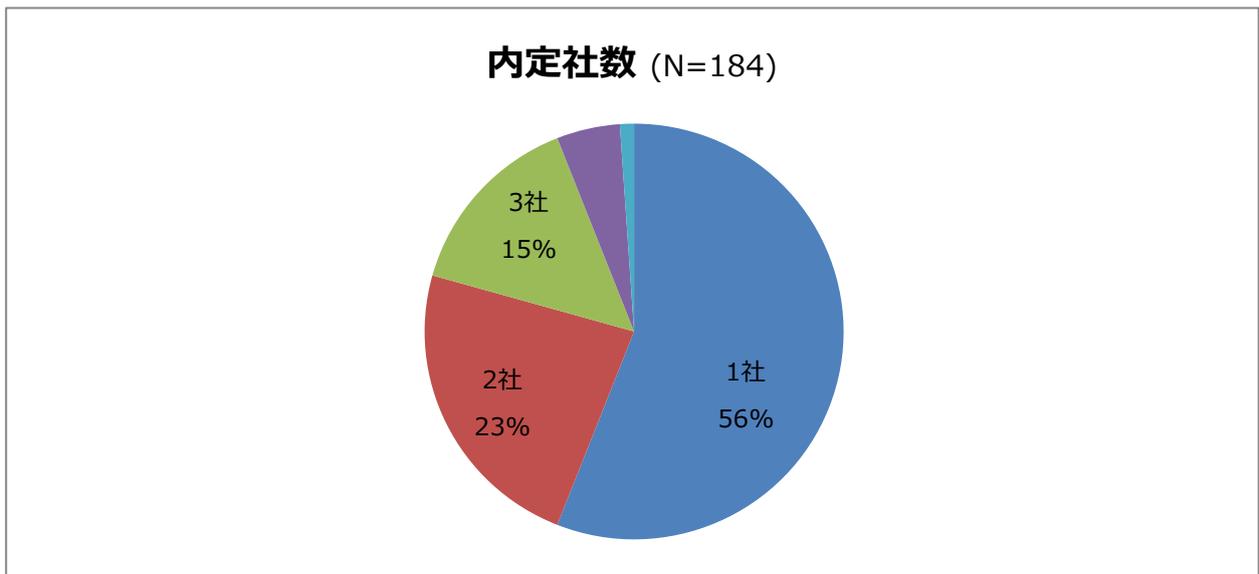
7.63%の学生が「内定あり」と回答

内定の有無を尋ねたところ、63%の学生が「内定あり」と回答しました。今年度より就職活動のスケジュールが繰り下げとなり、8月から選考開始と言われておりますが、実際には半数以上の学生が既に内定を獲得している現状が浮かび上がりました。



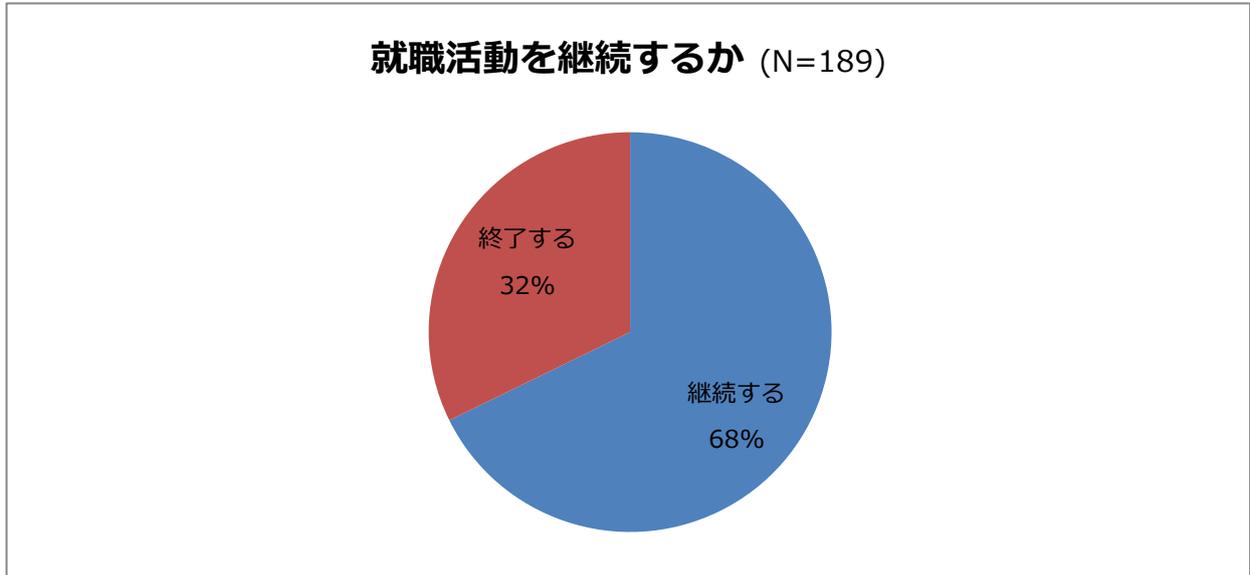
8.内定社数は「1社」が56%で半数以上を占める

内定を持っている学生のうち、半数以上は1社の内定を保持しています。8月から本格化する大手企業の選考後、練習や合宿のため活動ができないという事情を抱える学生は、その前に1つは内定を取っておきたいという思惑があるようです。



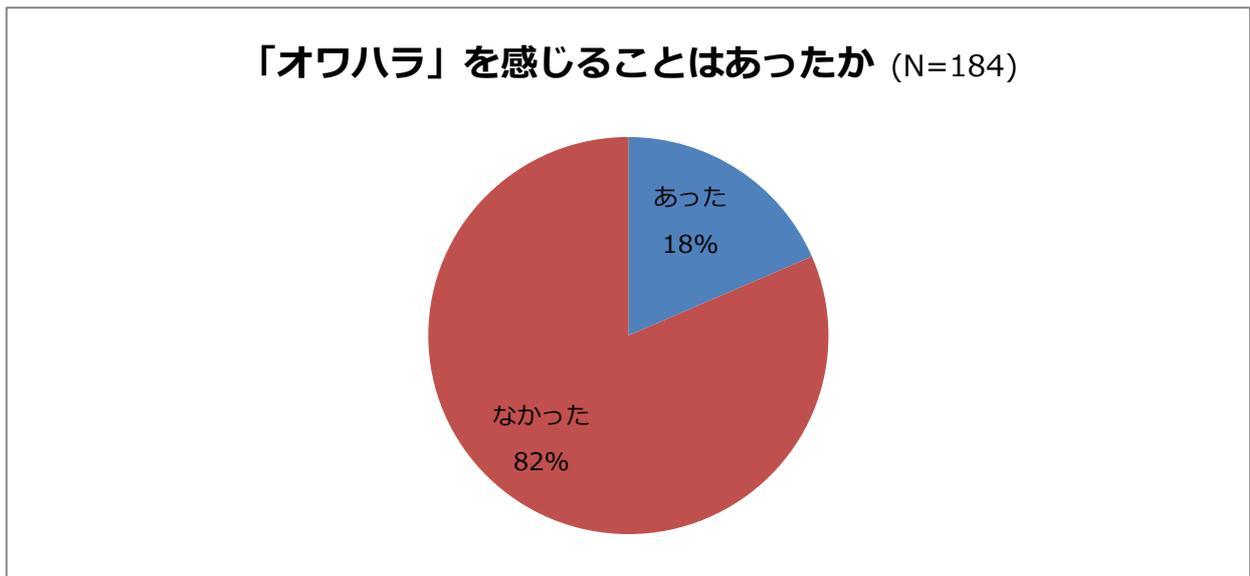
9.内定保持学生の約7割が就職活動継続

内定を持っている学生のうち、68%は就職活動を継続すると回答しています。前述の通り、本命の企業があり、その選考が8月以降に控えているという事情があると考えられます。一方、8月以降に試合や合宿で遠征となる学生は、内定が出た時点で活動を終了するケースもあるようです。



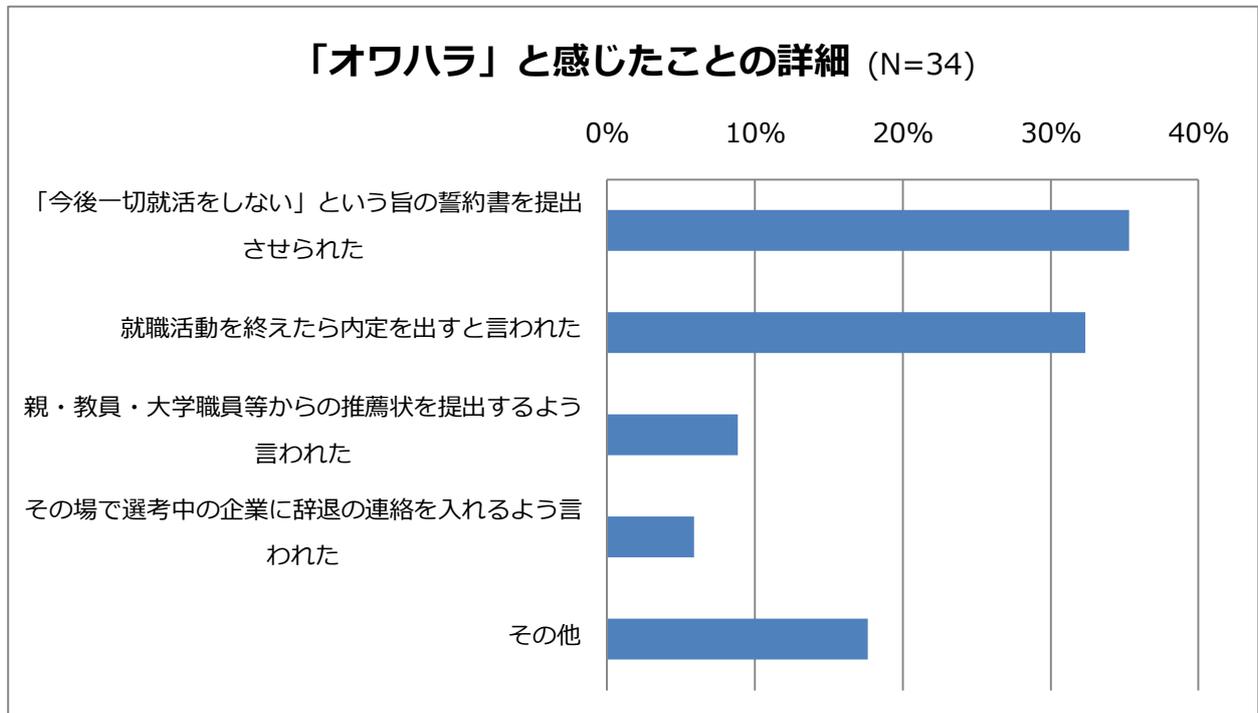
10.「オワハラ」を感じた学生は18%

内定獲得の前後で、企業から就職活動を終えるよう強く働きかけること（通称：オワハラ）があったと回答した学生は18%となりました。全体としてはさほど多くはないものの、一定数の学生が企業からプレッシャーをかけられていることが分かりました。



11. 「オワハラ」と感じた内容

「オワハラ」を感じたと回答した学生に詳細を確認したところ、「誓約書の提出」が35.3%でトップとなり、次いで「就職活動を終わったら内定を出すと言われた」が32.4%という結果になりました。また数は少ないものの、その場で他社に辞退の連絡を入れると言われるケースも出ており、学生は困惑しているようです。

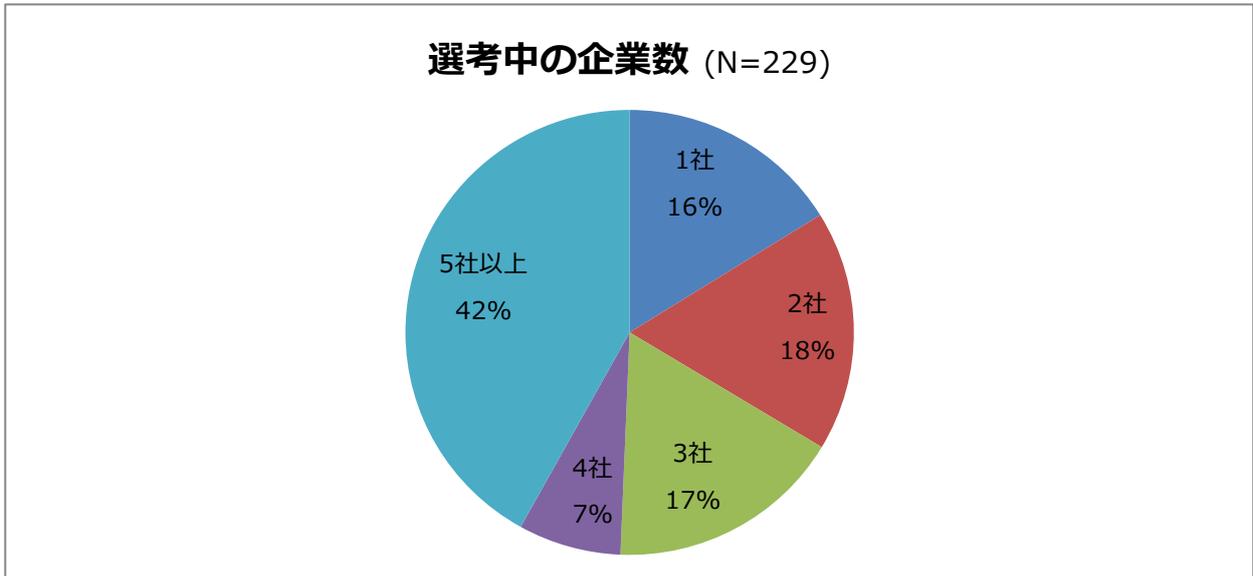


▼「その他」の詳細

- ・他社の選考、内定辞退をしたらメールで連絡するように言われた。
- ・他社の選考を辞退した上で受諾するよう言われた。
- ・「1ヶ月しか待てない、内定を出したのだから辞めるべき」と言われました。
- ・「内定を出すか、辞退されては困る」と言われ、その場で役員全員と握手させられた。
- ・何度も面談に呼ばれた。
- ・そこまで強くないが、就活を終わりにすると言わないと内定が出ない雰囲気だった。
- ・「終わりにするよね？」と言われた。

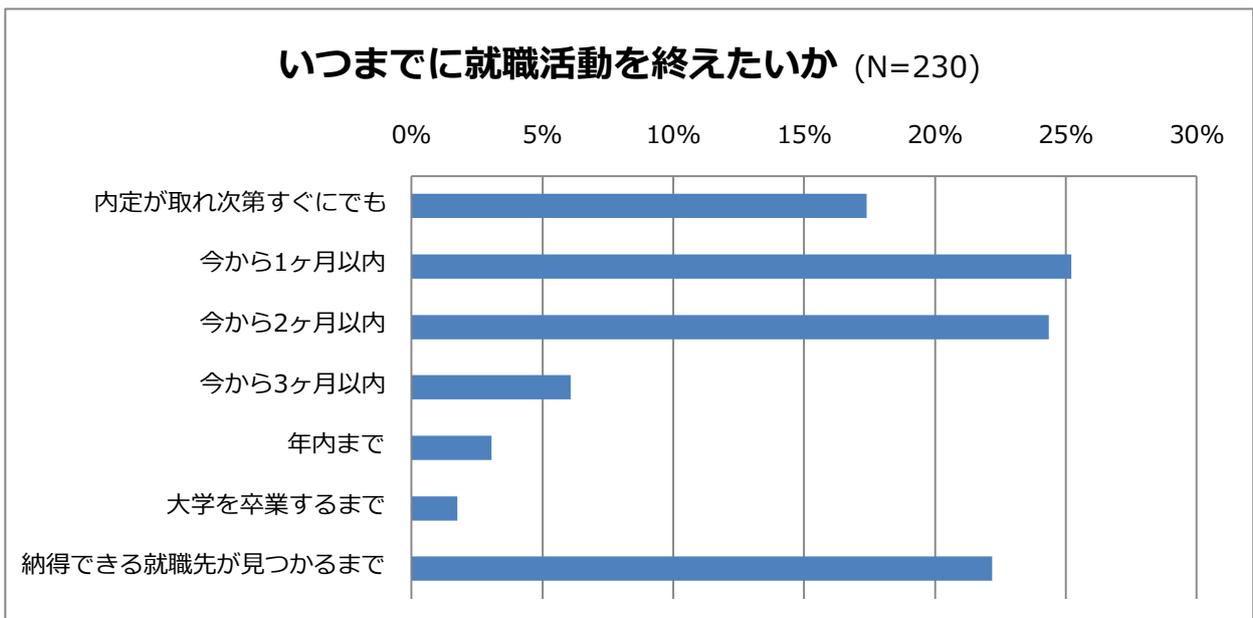
12.選考中の企業数は「5社以上」が42%でトップ

就職活動中の学生に選考中の企業数を尋ねたところ、最も多かったのは「5社以上」という回答でした。未内定の学生はもちろん、内定を保持している学生も、積極的に選考を受けているようです。



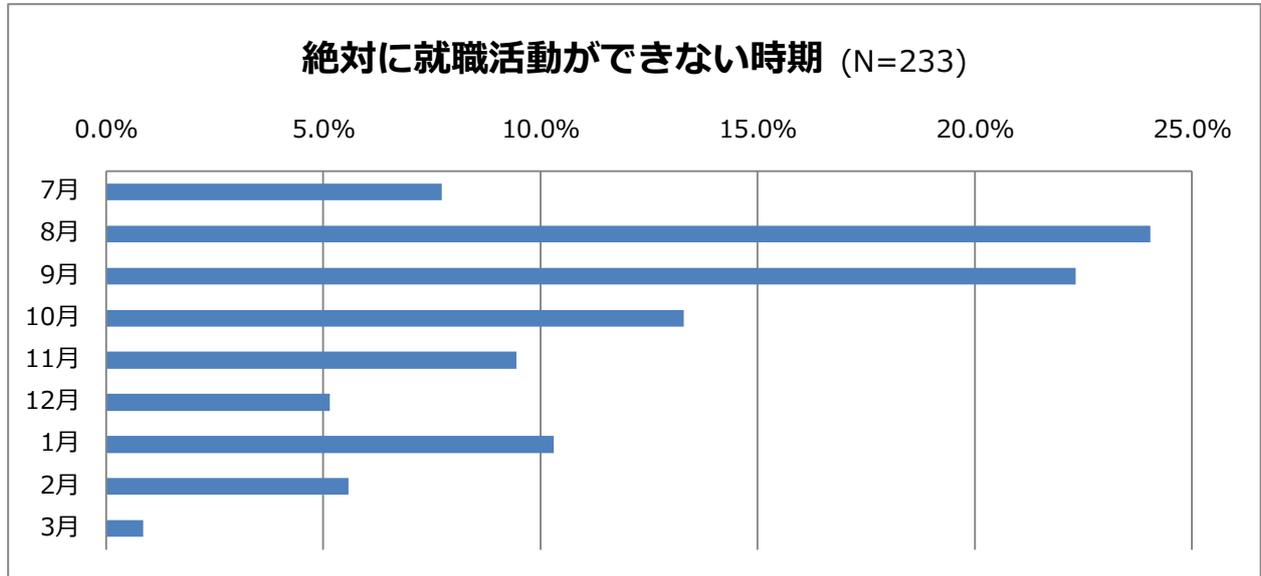
13.「1ヶ月以内に就職活動を終わりたい」が25.2%でトップ

就職活動を終わりたい時期を尋ねたところ、「今から1ヶ月以内」と回答した学生が25.2%でトップとなりました。次いで「今から2ヶ月以内」が24.3%となり、合わせると約半数となります。「内定が取れ次第すぐにでも」は17.4%にとどまり、「納得できる就職先が見つかるまで」の回答率が上回るなど、納得度を重視する学生も一定数いると考えられます。



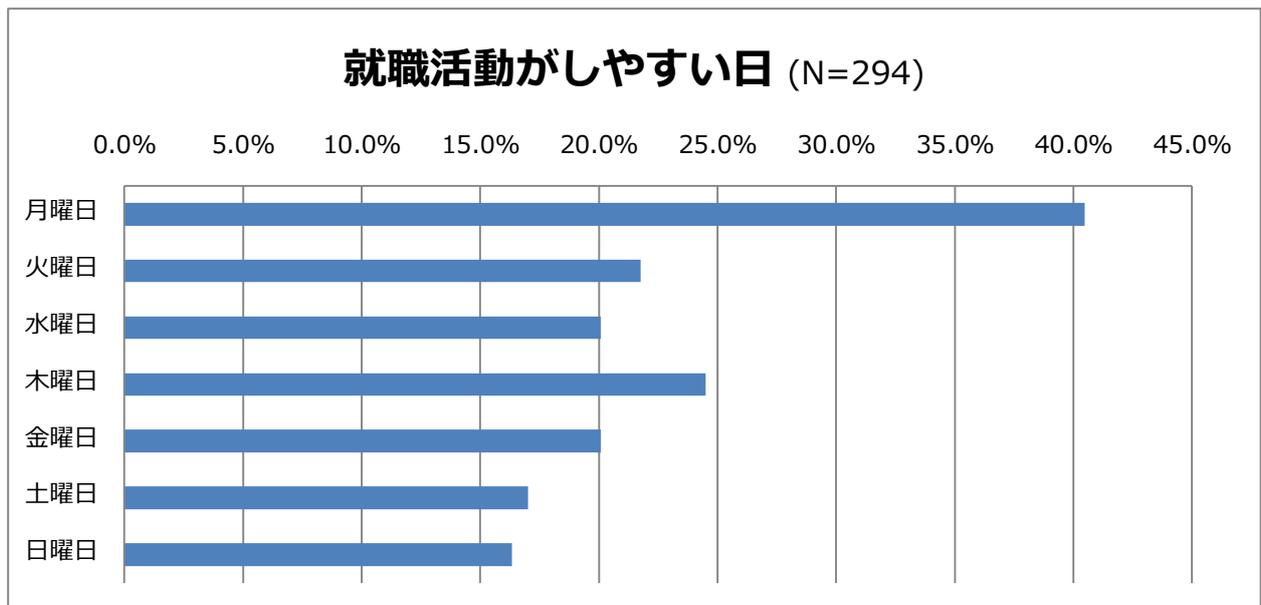
14.就職活動ができない時期は「8月」と「9月」

部活動や教育実習等で、就職活動ができない時期は「8月」が24.0%でトップ、「9月」が22.3%で次ぐ結果となりました。この時期は合宿やリーグ戦が始まる部活がほとんどのため、引退となる11～12月頃まで、部活動に集中したいと考えている様子が顕著に表れています。



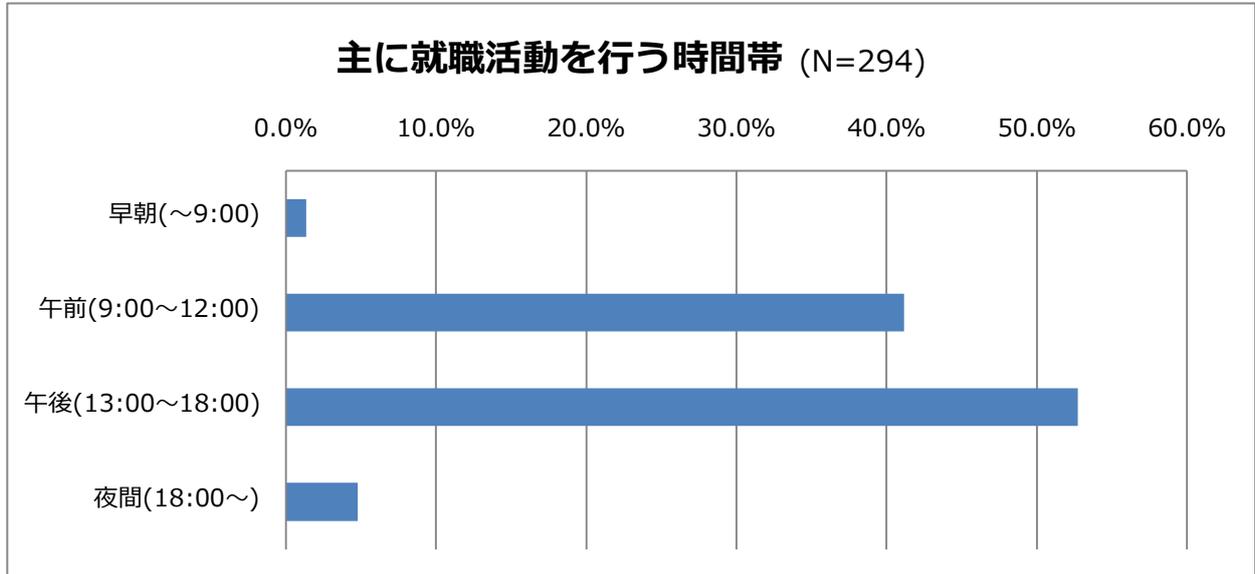
15.就職活動がしやすい日は「月曜日」が40.5%で他の曜日と2倍以上の差

1週間の中で、就職活動がしやすい日は「月曜日」が40.5%で、他の曜日と2倍以上の差をつけてトップとなりました。団体競技は月曜日がオフとなる場合が多く、この日を就職活動に充てられるようです。一方、土日は試合や終日練習を実施する影響で、最も低い結果となりました。



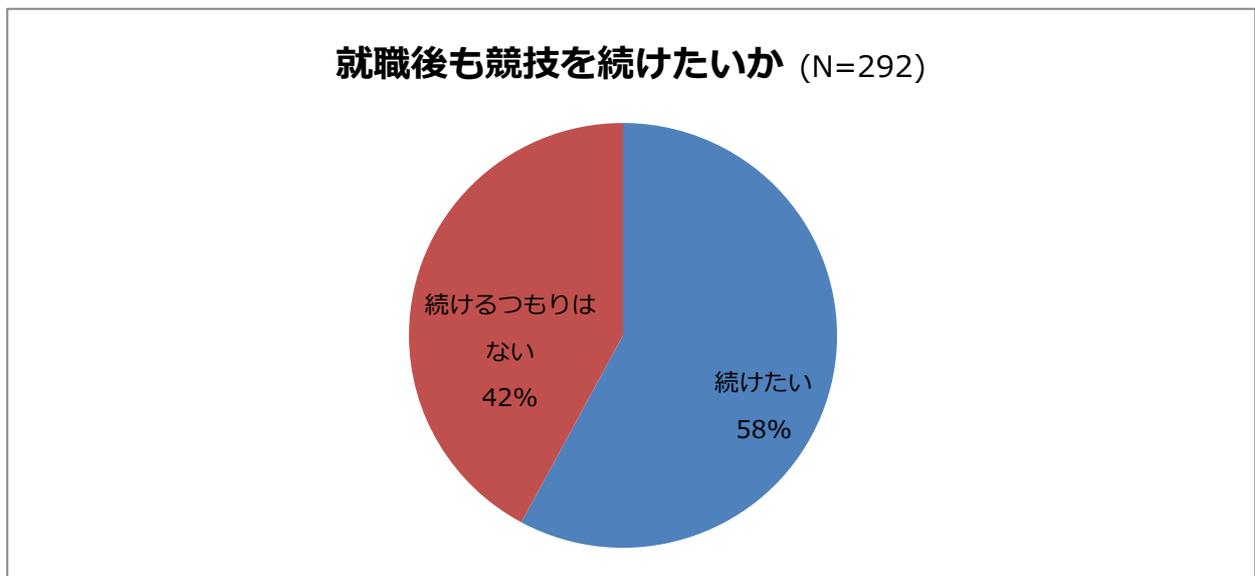
16.就職活動を行う時間帯は、「午後」が52.7%でトップ

主に就職活動を行う時間帯を尋ねると、「午後」と回答した学生が半数以上、次いで「午前」が41.2%となりました。どちらかは授業や練習に参加し、残りの時間で就職活動を行う学生が多いと考えられます。活動場所となるグラウンドや体育館の利用可能時間に左右されることもあり、大学や競技ごとに事情が異なるため、ここでは強い傾向値は出ませんでした。



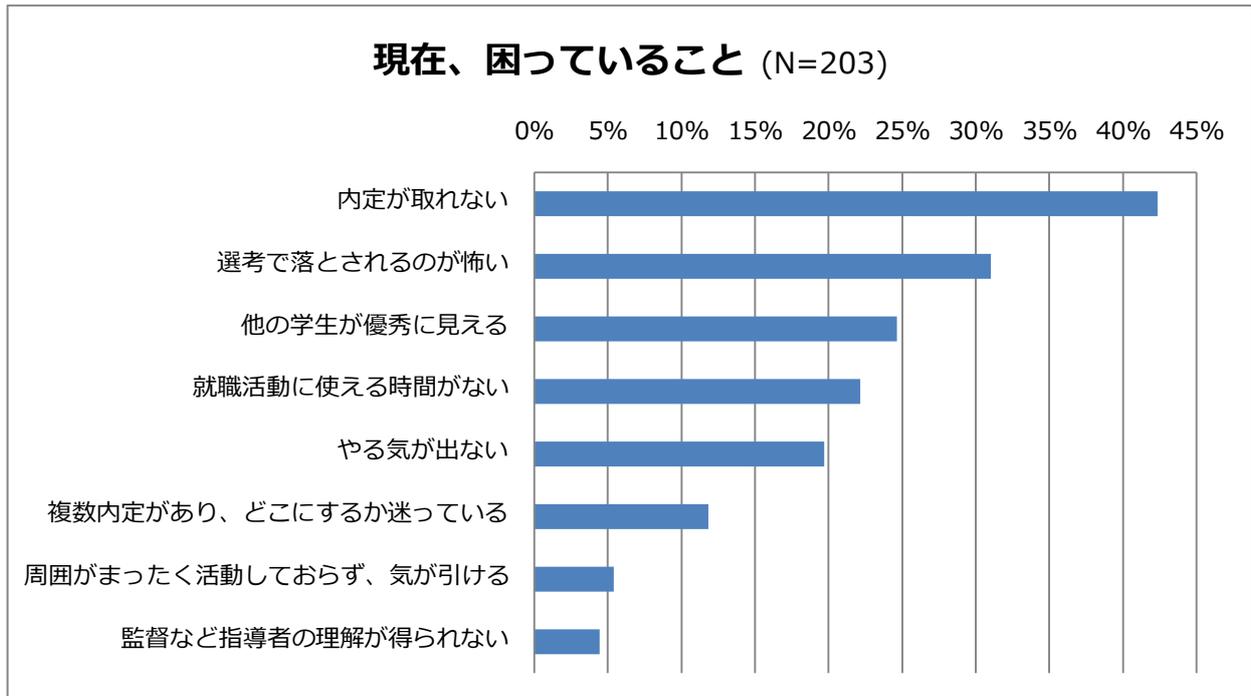
17.「就職後も競技を続けたい」が58%

就職してからも競技を続けたいと考えている学生が、半数以上の58%となりました。実業団における選手としての継続よりも、生涯スポーツとして仕事と両立しながら続けたいというニーズがあるようです。回答が多かった部活はバレーボール・卓球・バスケットボール・剣道など、地域スポーツとして続けられる競技が挙げられます。



18.現在、困っていることは「内定が取れない」が42.4%でトップ

現在、困っていることのトップは「内定が取れない」となり、4割を超える結果となりました。次いで「選考で落とされるのが怖い」や「他の学生が優秀に見える」といった、主に未内定学生と思われる回答が上位を占めています。22.2%の学生が「就職活動に使える時間がない」と回答しており、活動したい思いはありながらも部活動に打ち込まざるを得ない現状を垣間見ることができます。また、2割近くの学生が「やる気が出ない」と答えており、活動停止状態にあることが考えられます。



▼「その他」の詳細

- ・内定を頂いたが、ここでいいのかという迷いが生まれ、だらだらと就活を続けそう。
- ・テスト期間との両立への不安。
- ・交通費に使いすぎてお金がない。
- ・しっかり考えて結果を出したが、本当にこれで決めてしまっていいのか不安に思う。
- ・エントリーシートがうまくかけない。
- ・就職活動をしていくうちに、本当に就職でいいのかわからなくなってくる。
- ・就活抜けできない部活の雰囲気。
- ・興味がある企業はあるが、決め手が何かわからない。
- ・志望業界の選考が遅すぎる。
- ・第一希望の内定があるが、本当にそこでいいのか不安で、いつまでも就活をしてしまう。
- ・履歴書が苦手。
- ・絶対にここという企業がない。
- ・現在内定が出ている会社で本当に決めてしまっていいのか迷っている。